

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.6
Q1 室内環境						0.32		-	3.2
1	音環境				3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.40	-	-	
	1.2 遮音				4.2	0.40	-	-	
	1	開口部遮音性能	窓サッシT-2		5.0	0.60	-	-	
	2	界壁遮音性能	—		3.0	0.40	-	-	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	—		-	-	-	-	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)	—		-	-	-	-	
	1.3 吸音		—		3.0	0.20	-	-	
2	温熱環境				2.4	0.35	-	-	2.4
	2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	
	1	室温	—		3.0	0.38	-	-	
	2	外皮性能	—		3.0	0.25	-	-	
	3	ゾーン別制御性	—		3.0	0.38	-	-	
	2.2 湿度制御		—		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		—		1.0	0.30	-	-		
3	光・視環境				3.4	0.25	-	-	3.4
	3.1 昼光利用				2.2	0.30	-	-	
	1	昼光率	—		1.0	0.60	-	-	
	2	方位別開口	—		-	-	-	-	
	3	昼光利用設備	事務室へのハイサイドライト設置		4.0	0.40	-	-	
	3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	
	1	昼光制御	—		3.0	1.00	-	-	
	3.3 照度		オフィス、クリーンルーム: 750lx		4.0	0.15	-	-	
	3.4 照明制御		フル2線リモコンにて制御		5.0	0.25	-	-	
4	空気質環境				4.0	0.25	-	-	
	4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
	1	化学汚染物質	内装材はF☆☆☆☆を選定		4.0	1.00	-	-	
	4.2 換気				3.3	0.30	-	-	
	1	換気量	セントラル外調機により給排気 換気量30m3/h・人		4.0	0.33	-	-	
	2	自然換気性能	—		1.0	0.33	-	-	
	3	取り入れ外気への配慮	給気口は各種排気口から大きく離隔を確保		5.0	0.33	-	-	
	4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
	1	CO ₂ の監視	中央監視にてVAV+CO2制御を実装		5.0	0.50	-	-	
	2	喫煙の制御	建物内喫煙室無し、敷地内喫煙所にて喫煙ルールあり		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	
1	機能性				4.3	0.40	-	-	4.3
	1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40	-	-	
	1	広さ・収納性	—		3.0	0.33	-	-	
	2	高度情報通信設備対応	オフィスエリアにてレベル5の仕様を実装		5.0	0.33	-	-	
	3	バリアフリー計画	—		3.0	0.33	-	-	
	1.2 心理性・快適性				4.6	0.30	-	-	
	1	広さ感・景観	1～3階事務室は三面に、4階事務室は二面に腰窓を設置		4.0	0.33	-	-	
	2	リフレッシュスペース	2・4階給湯コーナーに自動販売機を設置		5.0	0.33	-	-	
	3	内装計画	機器の製造工程を表現した建物全体コンセプト・内装計画		5.0	0.33	1.0	-	
	1.3 維持管理				5.0	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計	内装: 塗床、防塵壁紙等 外装: フッ素樹脂塗装		5.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保	清掃用倉庫、フロア毎SK、リサイクルステーション設置		5.0	0.50	-	-	
2	耐用性・信頼性				3.8	0.30	-	-	
	2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)	建築基準法に定められた25%増の耐震性能		4.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能	—		3.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数	—		3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上り材の補修必要間隔	—		3.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上り材の更新必要間隔	床: 塩ビタイル・カーペット、壁・天井: 石膏ボード		5.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	外部はガルバリウム鋼板製ダクトを採用		5.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	硬質塩化ビニル管、塩ビライニング鋼管		4.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔	—		3.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性				4.4	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備	ガスと電気をエネルギーとする熱源を設置		4.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	節水器具の採用、汚水槽の設置		5.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	情報ラックに無停電電源装置設置、非常用発電機設置		4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	耐震クラスA		4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	光ケーブル、メタルケーブル、携帯電話網の引込		5.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			4.3	0.30	-	-	4.3
	3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
		1 階高のゆとり	階高3.85m以上(階によって異なる)	4.0	0.60	-	-	
		2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率を0.3未満とする	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	事務室の積載荷重5000N/m2(床用)	5.0	0.30	-	-		
	3.3 設備の更新性			4.2	0.40	-	-	
		1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水管の更新性	PSより縦管更新可能	4.0	0.20	-	-	
		3 電気配線の更新性	EPS、ラック・配管の全館敷設により更新可能	5.0	0.10	-	-	
		4 通信配線の更新性	EPS、ラック・配管の全館敷設により更新可能	5.0	0.10	-	-	
		5 設備機器の更新性	ドライエリアを利用した地下設置機器の更新計画	5.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	屋上にバックアップスペースを確保	4.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	3.5	
1 生物環境の保全と創出	建物北側の既存緑地・並木の保存	4.0	0.30	-	-	4.0		
2 まちなみ・景観への配慮	藤沢市都市景観アドバイザー会議に基づいた外装・外構計画	4.0	0.40	-	-	4.0		
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5		
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.8	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制	Low-eガラスの採用	3.7	0.20	-	-	3.7		
2 自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	BEI=0.58	5.0	0.50	-	-	5.0		
4 効率的運用		5.0	0.20	-	-	5.0		
	集合住宅以外の評価		5.0	1.00	-	-		
	4.1 モニタリング	中央監視設備の設置によりシステム評価の実施が可能	5.0	0.50	-	-		
	4.2 運用管理体制	設備管理部門による性能検証、不具合是正を実施	5.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価		-	-	-	-		
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-		
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5	
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4		
	1.1 節水	節水大便器、自動水栓、擬音装置の設置	4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-		
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7		
	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.10	-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	屋外:インターロッキングブロック、屋内:塩ビタイル	5.0	0.20	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア・LGS下地の採用	5.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.20	-	-	3.2		
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.70	-	-		
	1 消火剤	ガス消火にイナートガス(IG541)を採用	4.0	0.33	-	-		
	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.33	-	-		
	3 冷媒	-	3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3	
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率74%	4.0	0.33	-	-	4.0		
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25	-	-		
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.33	-	-		
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.33	-	-		
	3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制	1階リサイクルステーション・CR内に回収ボックスを設置	4.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-		
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-		
	2 振動	-	-	-	-	-		
	3 悪臭	-	-	-	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		2.3	0.40	-	-		
	1 風害の抑制	-	2.0	0.70	-	-		
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-		
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-		
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-		
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明のエネルギー有効利用を図っている・広告物照明なし	5.0	0.70	-	-		
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-		

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		-	○	-	○	○	○	○	○		○	○	○	
1.3.2 維持管理用機能の確保	10.0			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
2.4.1 空調・換気設備	2.0		-	-	○	○	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	4.0	4.0	○	○	○	-	-	-	○						
2.4.3 電気設備	3.0	2.0	○	○	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	4.0		○	-	○	○	-	○							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	11.0		2.0	2.0	2.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0		2.0	2.0	-	1.0	-	-	-	1.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0		1.0	2.0	-	-	1.0	-	-	2.0	1.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	-		-	-	-	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	4.0		1.0	1.0	1.0	1.0		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
昼光率	0.0%				
自然換気有効開口面積率					

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	50.0	VA/m ²							
天井高	2.7	m							
リフレッシュスペース	3.4%	レストスペース	-						
想定耐用年数	65	年							
想定必要間隔	0	年							
想定必要間隔	20	年							
想定必要間隔	-	年							
階高	3.85	m							
壁長さ比率	12.8%								
床荷重	5000	N/m ²							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	21%	建物緑化指数	0%				
空地率	64%	水平投影面積率	2%	地表面対策面積率	14%	舗装面積率	51%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.92	断熱等性能等級		対象外 相当			
自然エネルギー直接利用量	0	MJ/年m ²		採光を満たす教室数 -		採光を満たす住戸数 -	
				通風を満たす教室数 -		通風を満たす住戸数 -	
BPI/BPI _m	非住宅	0.58	住宅 -	太陽光	12.4kW	太陽熱等 -	蓄電池 -

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%		
特定調達品目	田島:セイデンタイエコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等 太平洋プレコン:コレクション
使用比率	-		
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	0.08
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	-
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	2090

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標Rw						-	
地表面対策面積率	16.8%	屋根面対策面積率		0.0%	外壁面対策面積率		0.0%		
見付面積Sb	-	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws			-	m	基準高さHb	-	m
緑地	1,464㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡